

丸谷 望美海

私は、1学期の授業で「明るい社会」について考えました。どうしたら社会が明るくなるか。頭に浮かんだのは「友達をつくる」ということでした。友達がいる人といない人では普段の生活が変わってくると思います。

友達がいれば、楽しいときは笑い合えるし、辛い時や苦しいときは支え合うことができます。これは一人では絶対にできないことです。

次に思ったのは「優しさ」です。人に優しく接することは説明する必要もないですが、大事なことです。私は、人に優しく接することはできていると思います。しかし、みんなに平等に優しくできているかという自信がありません。「平等に」というのが難しいことだと思います。みんなに平等に接することが優しさだと思います。

優しく接することで、相手がうれしい気持ちになって、自分もスッキリした気持ちになります。お互いに優しさをもって交流することで明るい社会につながっていくと思います。

明るい社会をつくるために思いついたことを述べてきましたが、どれも当たり前のことばかりだと思います。その当たり前のことを行動に移すことが大事だと思います。そして行動として現れなくても、考え続けていくことが大事なことだと思います。自分たちで明るい社会を作り上げていきたいと思います。